

TESTPASSPORT

練習問題



高品質な学習リソース

<https://www.testpassport.jp>

1年間無料アップデート

Exam : EX300

**Title : Red Hat Certified Engineer
– RHCE (v6+v7)**

Version : DEMO

1. 正しいテキスト

RHCE テスト設定手順

テストに使用する 2 つのシステムに関する情報は以下のとおりです。

system1.group3.example.com: は主要なサーバーの 1 つです。 **system2.group3.example.com:** 主にクライアントとして使用されます。

2 つのシステムの両方のパスワードが気になる

システムの IP は DHCP によって提供されます。通常の IP と見なすことも、次の要件に従って静的 IP にリセットすることもできます。

system1.group3.example.com: 172.24.3.5

system2.group3.example.com: 172.24.3.10

サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

あなたのシステムは DNS ドメイン **group3.example.com** のメンバーです。 DNS ドメイン

group3.example.com 内のすべてのシステムはすべてサブネット **172.24.3.0/255.255.255.0** 内にあり、このサブネット内のすべてのシステムも **group3.example.com** 内にあります。特別な場合を除き、設定が必要なすべてのネットワークサービスはドメイングループ 3 のシステムによってアクセスされます。

host.group3.example.com は、集中認証サービスドメインを提供します。

GROUP3.EXAMPLE.COM、**system1** と **system2** の両方がすでにこのドメインのクライアントになるように事前設定されています。このドメインは次のユーザーアカウントを提供します。

```
krishna (password: atenorth)
```

```
sergio (password: atenorth)
```

```
kaito (password: atenorth)
```

ファイアウォールはデフォルトで有効になっています。適切と思われる場合はファイアウォールをオフにすることができます。ファイアウォールに関する他の設定は別の要件になる場合があります。

スコアリングの前にシステムが再起動されます。再起動後も手動による介入なしに、行ったすべての変更およびサービス設定を操作できることを確認してください。再起動しなくてもすべての検査の仮想マシンインスタンスは正しいマルチユーザーレベルに入ることができます。手動による支援では、仮想マシンシステムを使用したテストを再起動できない場合、または正しく再起動できない場合はゼロとなります。

オペレーティングシステム **Red Hat Enterprise Linux** バージョンを使用したテスト用の対応する配布パッケージは、次のリンクにあります。

<http://server1.group3.example.com/rhel>

要件の一部にはホストセキュリティが含まれ、ホストセキュリティ制限がホストとネットワークを許可する要求を妨げないようにします。ただし、ネットワークサービスを正しく設定したにもかかわらずホストまたはネットワークのブロックを許可する必要があります。

サービスドメイン **my133t.org** によるサービスへのアクセスを明らかに許可していない要件がいくつかあり、このドメインのシステムはサブネット **172.25.1.0/252.255.255.0** にあり、これらのサブネットのシステムも私の **133t.org** ドメインに属しています。

シモンズ: いくつかのテスト問題は他の試験問題に依存するかもしれないことに注意してください、例えば、あなたはユーザに一連の制限を実行するように頼まれるかもしれませんが、しかしこのユーザ作成は他の問題で要求されるかもしれません。識別に便利のように、各試験問題には、すでに完了した問題と未完了の問題を識別するのに役立つラジオボタンがあります。もちろん、必要でなければ、これらのボタンを気にする必要はありません。

SELINUX を設定する

selinux の状態を強制モードに変更します。

VIM / etc / selinux を使う

Answer:

```
getenforce    // View the current SELINUX mode
setenforce 1  // Sets the selinux temporarily to enforcing mode
vim /etc/selinux/config
SELINUX=enforcing
:wq
getenforce
enforcing
```

2. 正しいテキスト

RHCE テスト設定手順

テストに使用する 2 つのシステムに関する情報は以下のとおりです。

system1.group3.example.com: は主要なサーバーの 1 つです。 **system2.group3.example.com:** 主にクライアントとして使用されます。

2 つのシステムの両方のパスワードが気になる

システムの IP は DHCP によって提供されます。通常の IP と見なすことも、次の要件に従って静的 IP にリセットすることもできます。

system1.group3.example.com: 172.24.3.5

system2.group3.example.com: 172.24.3.10

サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

あなたのシステムは DNS ドメイン **group3.example.com** のメンバーです。 DNS ドメイン

group3.example.com 内のすべてのシステムはすべてサブネット **172.24.3.0/255.255.255.0** 内にあり、このサブネット内のすべてのシステムも **group3.example.com** 内にあります。特別な場合を除き、設定が必要なすべてのネットワークサービスはドメイングループ **3** のシステムによってアクセスされます。

host.group3.example.com は、集中認証サービスドメインを提供します。

GROUP3.EXAMPLE.COM、**system1** と **system2** の両方がすでにこのドメインのクライアントになるように事前設定されています。このドメインは次のユーザーアカウントを提供します。

```
krishna (password: atenorth)
sergio (password: atenorth)
kaito (password: atenorth)
```

ファイアウォールはデフォルトで有効になっています。適切と思われる場合はファイアウォールをオフにすることができます。ファイアウォールに関する他の設定は別の要件になる場合があります。

スコアリングの前にシステムが再起動されます。再起動後も手動による介入なしに、行ったすべての変更およびサービス設定を操作できることを確認してください。再起動しなくてもすべての検査の仮想マシンインスタンスは正しいマルチユーザーレベルに入ることができます。手動による支援では、仮想マ

シンシステムを使用したテストを再起動できない場合、または正しく再起動できない場合はゼロとなります。

オペレーティングシステム **Red Hat Enterprise Linux** バージョンを使用したテスト用の対応する配布パッケージは、次のリンクにあります。

<http://server1.group3.example.com/rhel>

要件の一部にはホストセキュリティが含まれ、ホストセキュリティ制限がホストとネットワークを許可する要求を妨げないようにします。ただし、ネットワークサービスを正しく設定したにもかかわらずホストまたはネットワークのブロックを許可する必要があります。

サービスドメイン **my133t.org** によるサービスへのアクセスを明らかに許可していない要件がいくつかあり、このドメインのシステムはサブネット **172.25.1.0/252.255.255.0** にあり、これらのサブネットのシステムも私の **133t.org** ドメインに属しています。

シモンズ：いくつかのテスト問題は他の試験問題に依存するかもしれないことに注意してください、例えば、あなたはユーザに一連の制限を実行するように頼まれるかもしれませんが、しかしこのユーザ作成は他の問題で要求されるかもしれませんが。識別に便利のように、各試験問題には、すでに完了した問題と未完了の問題を識別するのに役立つラジオボタンがあります。もちろん、必要でなければ、これらのボタンを気にする必要はありません。

必要に応じて **SSH** アクセスを設定します。

ユーザーは、**SSH** リモート経由でドメイン **group3.example.com** のクライアントを介して 2 つの仮想マシンシステムにアクセスできます。

Answer:

解決策 1:

ファイル **/etc/hosts.allow** を変更します。

1 行追加してください: **sshd: 172.24.11**。

ファイル **/etc/hosts.deny** を変更します。

1 行追加してください: **sshd: 172.25.0**。

両方とも設定する必要があります。

解決策 2:

ファイアウォールを追加する

firewall-cmd --zone = block --add-source = 172.25.11.0 / 24 --permanent firewall-cmd --reload

両方とも設定する必要があります

3. 正しいテキスト

RHCE テスト設定手順

テストに使用する 2 つのシステムに関する情報は以下のとおりです。

system1.group3.example.com: は主要なサーバーの 1 つです。 **system2.group3.example.com**: 主にクライアントとして使用されます。

2 つのシステムの両方のパスワードが気になる

システムの IP は **DHCP** によって提供されます。通常の IP と見なすことも、次の要件に従って静的 IP にリセットすることもできます。

system1.group3.example.com: **172.24.3.5**

system2.group3.example.com: **172.24.3.10**

サブネットマスクは **255.255.255.0** です。

あなたのシステムは **DNS** ドメイン **group3.example.com** のメンバーです。 **DNS** ドメイン

group3.example.com 内のすべてのシステムはすべてサブネット **172.24.3.0/255.255.255.0** 内にあり、こ

のサブネット内のすべてのシステムも **group3.example.com** 内にあります。特別な場合を除き、設定が必要なすべてのネットワークサービスはドメイングループ 3 のシステムによってアクセスされます。

host.group3.example.com は、集中認証サービスドメインを提供します。

GROUP3.EXAMPLE.COM、**system1** と **system2** の両方がすでにこのドメインのクライアントになるように事前設定されています。このドメインは次のユーザーアカウントを提供します。

```
krishna (password: atenorth)
sergio (password: atenorth)
kaito (password: atenorth)
```

ファイアウォールはデフォルトで有効になっています。適切と思われる場合はファイアウォールをオフにすることができます。ファイアウォールに関する他の設定は別の要件になる場合があります。

スコアリングの前にシステムが再起動されます。再起動後も手動による介入なしに、行ったすべての変更およびサービス設定を操作できることを確認してください。再起動しなくてもすべての検査の仮想マシンインスタンスは正しいマルチユーザーレベルに入ることができます。手動による支援では、仮想マシンシステムを使用したテストを再起動できない場合、または正しく再起動できない場合はゼロとなります。

オペレーティングシステム **Red Hat Enterprise Linux** バージョンを使用したテスト用の対応する配布パッケージは、次のリンクにあります。

<http://server1.group3.example.com/rhel>

要件の一部にはホストセキュリティが含まれ、ホストセキュリティ制限がホストとネットワークを許可する要求を妨げないようにします。ただし、ネットワークサービスを正しく設定したにもかかわらずホストまたはネットワークのブロックを許可する必要があります。

サービスドメイン **my133t.org** によるサービスへのアクセスを明らかに許可していない要件がいくつかあり、このドメインのシステムはサブネット **172.25.1.0/252.255.255.0** にあり、これらのサブネットのシステムも私の **133t.org** ドメインに属しています。

シモンズ：いくつかのテスト問題は他の試験問題に依存するかもしれないことに注意してください、例えば、あなたはユーザに一連の制限を実行するように頼まれるかもしれませんが、しかしこのユーザ作成は他の問題で要求されるかもしれません。識別に便利のように、各試験問題には、すでに完了した問題と未完了の問題を識別するのに役立つラジオボタンがあります。もちろん、必要でなければ、これらのボタンを気にする必要はありません。

ユーザー環境をカスタマイズする

system1 と **system2** に **qstat** という名前のカスタムコマンドを作成します。このカスタムコマンドは次のコマンドを実行します。

```
/bin/ps -AO pid, tt, user, fname, rsz
```

このコマンドはシステム内のすべてのユーザーに有効です。

Answer:

```
vim /etc/bashrc //Restart remain valid
alias qstat=' /bin/ps -Ao pid, tt, user, fname,
rsx'
:wq
source /etc/bashrc
alias //Check if there is qstat
qstat
```

// 2つのシステム両方でそれを設定する必要があります-

4. 正しいテキスト

RHCE テスト設定手順

テストに使用する 2つのシステムに関する情報は以下のとおりです。

system1.group3.example.com: は主要なサーバーの 1 つです。 **system2.group3.example.com:** 主にクライアントとして使用されます。

2つのシステムの両方のパスワードが気になる

システムの IP は DHCP によって提供されます。通常の IP と見なすことも、次の要件に従って静的 IP にリセットすることもできます。

system1.group3.example.com: 172.24.3.5

system2.group3.example.com: 172.24.3.10

サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

あなたのシステムは DNS ドメイン **group3.example.com** のメンバーです。 DNS ドメイン

group3.example.com 内のすべてのシステムはすべてサブネット **172.24.3.0/255.255.255.0** 内にあり、このサブネット内のすべてのシステムも **group3.example.com** 内にあります。特別な場合を除き、設定が必要なすべてのネットワークサービスはドメイングループ **3** のシステムによってアクセスされます。

host.group3.example.com は、集中認証サービスドメインを提供します。

GROUP3.EXAMPLE.COM、**system1** と **system2** の両方がすでにこのドメインのクライアントになるように事前設定されています。このドメインは次のユーザーアカウントを提供します。

```
krishna (password: atenorth)
```

```
sergio (password: atenorth)
```

```
kaito (password: atenorth)
```

ファイアウォールはデフォルトで有効になっています。適切と思われる場合はファイアウォールをオフにすることができます。ファイアウォールに関する他の設定は別の要件になる場合があります。

スコアリングの前にシステムが再起動されます。再起動後も手動による介入なしに、行ったすべての変更およびサービス設定を操作できることを確認してください。再起動しなくてもすべての検査の仮想マシンインスタンスは正しいマルチユーザーレベルに入ることができます。手動による支援では、仮想マシンシステムを使用したテストを再起動できない場合、または正しく再起動できない場合はゼロとなります。

オペレーティングシステム **Red Hat Enterprise Linux** バージョンを使用したテスト用の対応する配布パッケージは、次のリンクにあります。

<http://server1.group3.example.com/rhel>

要件の一部にはホストセキュリティが含まれ、ホストセキュリティ制限がホストとネットワークを許可する要求を妨げないようにします。ただし、ネットワークサービスを正しく設定したにもかかわらずホストまたはネットワークのブロックを許可する必要があります。

サービスドメイン **my133t.org** によるサービスへのアクセスを明らかに許可していない要件がいくつかあり、このドメインのシステムはサブネット **172.25.1.0/252.255.255.0** にあり、これらのサブネットのシステムも私の **133t.org** ドメインに属しています。

シモンズ：いくつかのテスト問題は他の試験問題に依存するかもしれないことに注意してください、例えば、あなたはユーザに一連の制限を実行するように頼まれるかもしれませんが、しかしこのユーザ作成は他の問題で要求されるかもしれません。識別に便利のように、各試験問題には、すでに完了した問題と未完了の問題を識別するのに役立つラジオボタンがあります。もちろん、必要でなければ、これらのボタンを気にする必要はありません。

必要に応じて、**system1** でポート転送を設定します。

1. **system1** にアクセスするためのネットワーク **172.24.11.0/24**、ローカルポート **5423** 内のシステムは、**80** に転送されます。

(2) この設定は永続的でなければなりません

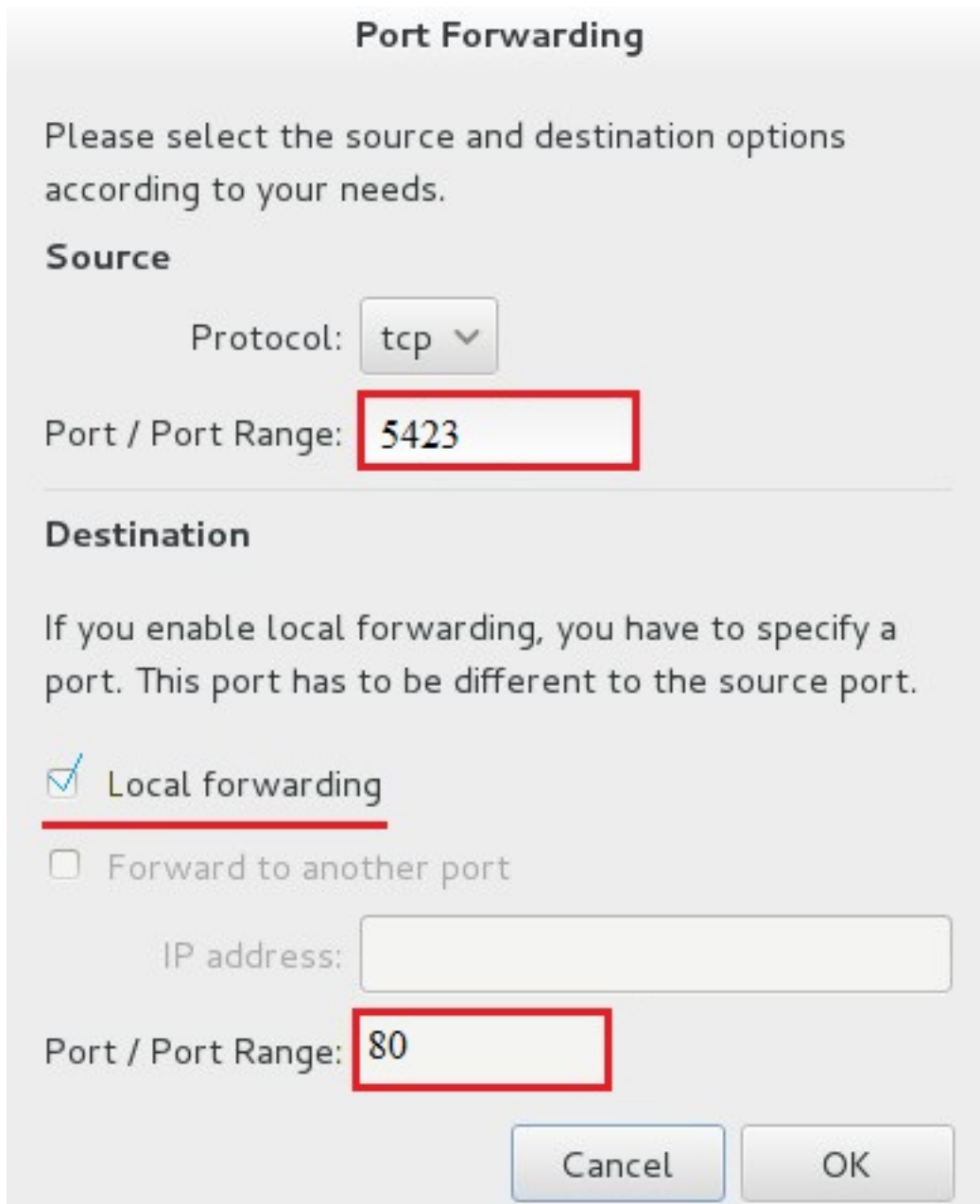
Answer:

グラフィカルインタフェースを使って設定する

firewall-config を使用して CLI でグラフィカルインタフェースを開く

設定を調整します。ドロップダウンメニューを固定にします

「Port Forwarding」の公共エリアに戦略を追加します



Port Forwarding

Please select the source and destination options according to your needs.

Source

Protocol: tcp

Port / Port Range: 5423

Destination

If you enable local forwarding, you have to specify a port. This port has to be different to the source port.

☒ Local forwarding

☐ Forward to another port

IP address:

Port / Port Range: 80

Cancel OK

`systemctl restart firewalld.service` //ファイアウォール戦略をリロードします

5. 正しいテキスト

RHCE テスト設定手順

テストに使用する 2 つのシステムに関する情報は以下のとおりです。

system1.group3.example.com: は主要なサーバーの 1 つです。 **system2.group3.example.com:** 主にクライアントとして使用されます。

2 つのシステムの両方のパスワードが気になる

システムの IP は DHCP によって提供されます。通常の IP と見なすことも、次の要件に従って静的 IP にリセットすることもできます。

system1.group3.example.com: 172.24.3.5

system2.group3.example.com: 172.24.3.10

サブネットマスクは 255.255.255.0 です。

あなたのシステムは DNS ドメイン `group3.example.com` のメンバーです。 DNS ドメイン `group3.example.com` 内のすべてのシステムはすべてサブネット `172.24.3.0/255.255.255.0` 内にあり、このサブネット内のすべてのシステムも `group3.example.com` 内にあります。特別な場合を除き、設定が必要なすべてのネットワークサービスはドメイングループ 3 のシステムによってアクセスされます。

`host.group3.example.com` は、集中認証サービスドメインを提供します。

`GROUP3.EXAMPLE.COM`、`system1` と `system2` の両方がすでにこのドメインのクライアントになるように事前設定されています。このドメインは次のユーザーアカウントを提供します。

```
krishna (password: atenorth)
```

```
sergio (password: atenorth)
```

```
kaito (password: atenorth)
```

ファイアウォールはデフォルトで有効になっています。適切と思われる場合はファイアウォールをオフにすることができます。ファイアウォールに関する他の設定は別の要件になる場合があります。

スコアリングの前にシステムが再起動されます。再起動後も手動による介入なしに、行ったすべての変更およびサービス設定を操作できることを確認してください。再起動しなくてもすべての検査の仮想マシンインスタンスは正しいマルチユーザーレベルに入ることができます。手動による支援では、仮想マシンシステムを使用したテストを再起動できない場合、または正しく再起動できない場合はゼロとなります。

オペレーティングシステム Red Hat Enterprise Linux バージョンを使用したテスト用の対応する配布パッケージは、次のリンクにあります。

<http://server1.group3.example.com/rhel>

要件の一部にはホストセキュリティが含まれ、ホストセキュリティ制限がホストとネットワークを許可する要求を妨げないようにします。ただし、ネットワークサービスを正しく設定したにもかかわらずホストまたはネットワークのブロックを許可する必要があります。

サービスドメイン `my133t.org` によるサービスへのアクセスを明らかに許可していない要件がいくつかあり、このドメインのシステムはサブネット `172.25.1.0/252.255.255.0` にあり、これらのサブネットのシステムも私の `133t.org` ドメインに属しています。

シモンズ：いくつかのテスト問題は他の試験問題に依存するかもしれないことに注意してください、例えば、あなたはユーザに一連の制限を実行するように頼まれるかもしれませんが、しかしこのユーザ作成は他の問題で要求されるかもしれません。識別に便利のように、各試験問題には、すでに完了した問題と未完了の問題を識別するのに役立つラジオボタンがあります。もちろん、必要でなければ、これらのボタンを気にする必要はありません。

リンク集約の設定

`system1.group3.example.com` と `system2` の間にリンクを構成します。必要に応じて `group3.example.com`:

- このリンクはインターフェイス `eth1` と `eth2` を使用します。
- 1 つのインターフェイスに障害が発生した場合でも、このリンクは機能します。
- このリンクは、`system1` で次のアドレス `172.16.3.20/255.255.255.0` を使用しています。
- このリンクは、`system2` で次のアドレス `172.16.3.25/255.255.255.0` を使用します。

・システムの再起動後も、このリンクは通常のままだです。

Answer:

名前の書き方を忘れた場合は、`/var/share/doc/team-1.9/example_configs/`で例を検索できます。

```
nmcli connection add con-name team0 type team ifname team0 config
'{"runner":{"name":"activebackup"}}'
nmcli con modify team0 ipv4.addresses '172.16.11.25/24'
nmcli connection modify team0 ipv4.method manual
nmcli connection add type team-slave con-name team0-p1 ifname eth1
master team0
nmcli connection add type team-slave con-name team0-p2 ifname eth2
master team0
nmcli connection up team0

nmcli con up team0-p1
nmcli con up team0
```